

第2回賃金対策委員会を開催

7年連続のベア獲得を!

中央本部は、1月21日(火)、西大阪ビル地下会議室において、第2回賃金対策委員会を開催した。各地本総支部の代表者とともに、2020年春季生活闘争の方針について熱く議論を交わした。

会議に先立ち、中央本部を代表して上村委員長は、「人手不足は喫緊の課題であり、特にグループ会社、協力会社は、深刻な状態である。会社にもしつかり提起していく。一方で、春闘に向けて、好調な経営状態が続いている会社に対して、長期雇用を前提に、安定的な成果の公正な配分をキツリと求めていく」と力強く挨拶を

行った。会議では、池上賃金対策部長から、国内外の取り巻く状況、連合並びにJR西労組の春闘方針を決定する。基本的な考え方についての説明があった後、JR西労組の2020年春季生活闘争方針(案)の提起がなされた。また、総合生活改善等に

関する申し入れについて、各地本総支部部会から提出された要求368項目を、約40項目にまとめたうえで提起を行い、各地本、総支部から更なる意見集約を行った。各地本部会からは、会社が好業績を収めている以上は、公正な

配分を強く求めるべきだとの意見が出され、要求額の根拠や年間臨時給方式の意義など、熱い議論が交わされた。本会議で議論された内容を踏まえ、2月7日(金)に、TKP大阪リバーサイドホテルで開催する「第38回中央委員会」において、JR西労組の春闘方針を決定する。



2020春闘の方針(案)について説明する池上賃金対策部長

ロマンは実を結ぶ

大阪地本 奈良支部 奈良車掌区分会

No.247

私達の奈良車掌区分会は大坂・京都・奈良を結ぶ線区を乗務する車掌区です。最近では、おおさか東線の



若手とベテランが仲良く風通しの良い組合

全線開業や特急まほろば号の乗務、将来的には奈良線の完全複線化を控えており、ますます活気づいていきます。毎月の執行委員会を始

ローカル線区とアーバン線区を乗りこなす車掌区

乗りこなす車掌区

め、職場集会、歓送迎会を積極的に開催し、若手とベテランが仲良く風通しの良い活動を行っています。毎年4月25日には、事故を風化させない取り組みとして職場集会を行い、事故

当時の乗務していた時の様子や雰囲気、緊張感などを話し合い、二度と事故を発生させない様に組合員と意思疎通を図っています。また、新しく車掌になった社員を対象に、「新任車掌学習会」も毎年開催しており、乗務員の手当てに関する勉強、他労組の情勢、JR

西労組の歴史などを振り返り、組合活動の大切さを伝え、将来の役員育成を行っています。春闘では、各決起集会への参加、檄布の作成、京都駅ビル大階段駆け上がり大会に参加しています。駆け上がり大会には奈良車掌区分会からも数々の選手を送り込み、春闘を盛り上げています。「1人の100歩より、全員の1歩」を目指して、奈良からJR西労組運動を力強く発信していきます。



「新任車掌学習会」を毎年開催

JR西労組応援団を結成

Go!Go!レイラーズ!!

JR西労組は、1月25日(土)に、全選手がJR西労組の組合員でもあるラックビーレイラーズのトップウエストAリーグの最終戦となる中部電力戦にJR西労組応援団を結成し、愛知県中部電力日進総合運動場に向かった。



当日は、西バスの貸切バスを手配し、JR西労組応援団40名を含めて総勢100名以上の仲間が詰めかけ、必死の声援を贈り続けた。今試合で、3トライ7点(勝点31点)となった。試合後、中野主将は「愛

監督：藤原 正雄

レイラーズ・メンバー表

Table with 5 columns: No., 氏名, 年齢, 身長, 体重, 新/再. Lists 23 members of the Rylers team with their respective details.

ウエスト君 中野リキ (No.343)

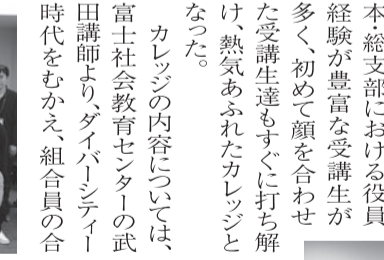


思ひやりだと思っています。組合員との横の繋がりを大事にし「声かけ」を特に重視し、団結を強化し仲間外れを作らない、全員参加型の運動を展開しています。「1人の100歩より、全員の1歩」を目指して、奈良からJR西労組運動を力強く発信していきます。



意見交換後の梶原議員との集合写真

2日間の日程を修了した閉講式では、その表情などから受講生の少し成長した様子を伺うことができた。今回の受講生たちが、地本支部・分会の役員として今後ますます活躍し、各職場に山積する多くの課題を解決していき、職場の世話を役活動や意見を代弁するリーダーとして活躍していただくことを期待する。



意見交換後の梶原議員との集合写真

知県まで応援に来ていただき有難うございました。今年の悔しさは来シーズン優勝することだと思えます。引き続きの応援を宜しくお願いしますと悔しさの中で御礼の言葉を述べた。今日までのJR西労組組合員の声援に感謝申し上げます。また、来シーズンも、仕事とラクビーを両立するレイラーズ組合員と「ONE TEAM」で、頂点を目指していきます。

賃金昇進制度等の見直しに向けた模擬職場討議を实践する ユニオンカレッジ

第185期「役員実践コース」を開催

中央本部は、ユニオンカレッジ第185期「役員実践コース」を1月17日(金)〜18日(土)に、37名の受講生の参加のもと、琵琶湖コンファレンスセンターにおいて開催した。今回の研修には各地本・総支部における役員経験が豊富な受講生が多く、初めて顔を合わせた受講生達もすぐに打ち解けた。熱気あふれたカレッジとなった。



受講生全員で職場討議を实践

カレッジの内容については、富士社会教育センターの武田講師より、ダイバーシティ時代をむかえ、組合員の合意形成をどのようにまとめるかの講義を受けた。その後、羽野書記長から福知山線列車事故について、事故発生当時の状況や、ご遺族対応社員や組合員へのフォローなど、運転再開前後のJR西労組として取り組んできた内容について詳しく講義を受けた。白壁副委員長からは、国鉄末期における無秩序状態の反省から生まれたJR西労組の歴史や、現在JR東労組で起こっている大量脱退から得られる教訓について学んだ。また全体交流会には組織内議員である京都府

議会の梶原英樹議員が駆けつけ、選挙でのお礼と現在の活動内容について、報告がありその後は様々な意見交換を行った。2日目は、上村委員長から「企画提案運動の歴史と魅力と求心力あるJR西労組運動の」という視点で構築にむけて」と題した特別講義を受け、将来に責任の持てる運動を持続発展させるためには運動に誇りを持ち、驕りや慢心を排除し、一人ひとりが実践すべき行動など多くのことを学んだ。そして、本部大会において確認し賃金昇進制度等の改正に向け1月より各地本・総支部で始まっている「現行制度の課題」抽出のための職場討議を受講生全員で実践し、班毎で意見を出し合い、ファシリテーターとして全員の意見を引き出す模擬討議を行った。